



鷺の宮卓話

言葉：思い浮かぶままに

研究所長 太田敬雄

昭和7年5月15日、海軍の青年将校数名が内閣総理大臣官邸に乱入し、時の内閣総理大臣、犬養毅を銃撃した。後に5・15事件として知られる事件である。この事件で犬養総理大臣が青年将校たちに語った言葉として「話せばわかる」は世に広まっていた。

そうだろうか？本当は「話せばわかる」のではなく、基本的には話す前からわかっているし、出会った瞬間から理解しているのが普通だと思う。その出来ていない者同士が、話し合っただけで、理解し合う事は不可能とまでは言わないが、かなり困難なのではないだろうか。

犬養総理は、銃口を自分に向けた青年将校たちに信頼感を持ち、心を開くことができたから「話せばわかる」と言えたのだろうか？それとも言語コミュニケーションを過信した言葉だったのだろうか？

実は、私たちは色々なところでびっくりするほど多くの思い込みをしている。

私と話す時に大きな声を出す人がいた。私は彼が云っていることを理解したが、彼には私の日本語訛りの英語が理解できなかったようだ。解らないと彼の声はどんどん大きくなっていった。どうも「通じない」と、それは「聞こえない」からだと思い、聞こえるように声を大きくする人がいるらしい。

日本ではどうなのだろうか？外国人と話す時に大きな声を出す傾向のある人はいるのだろうか？留学生に訊いてみると、やはり時々あるそうだ。年配の男性の中に、声を大きくする人がいるらしい。「通じない」との思いが「聞こえない」にすり替えられることはアメリカでも、日本でもおこる。つまり、英語を母語にする人でも、日本語を母語とする人でも同じようにおかす間違いらしい。

日本に住んでいる外国人から時々聞く話し。駅などで日本人に日本語で話しかけると “I cannot

speak English.”と行って逃げていく日本人がいるとのこと。見かけが外国人らしく見えるだけで、外国人と決め込み、さらに外国人だから当然言語は英語と決め込んでパニックになり「英語は話せません」と言って逃げ出すのだろう。この人たちは相手が日本語を話していることに気づきもしないようだ。こういうことが結構頻繁に有るらしい。

私たちが力を入れている「多文化交流」の海外プログラム。多くの方が、当然使用言語は英語だと思われるらしい。「日本語ですよ」とお話しするとびっくりされる。現実には世界で日本語を学んでいる人の数は300万人とも400万人とも言われている。また、世界の多くの大学で日本語を教えている。日本語を専攻できる大学も珍しくない。それでも、私たち日本人は海外では英語しか通じないと思っているし、日本語は外国の人には難し過ぎると思っているようだ。

言葉は、何語であれ微妙な表現は沢山あって、なかなか難しい。日本語が特別なのではないと知る事も、国際人になるためのワン・ステップだ。

もう一つ：「正しい言葉」を身に付けることは大切だ。しかし、言葉は成長し続けている生き物で、常に変化している。半世紀前に私がアメリカで間違いだと言った色々な英語表現の多くが今ではすっかり「正しい英語」になっていたりする。



2013. 8. 9. 安中駅前にて

「多文化交流」では毎回素晴らしい交流が来ているが、それは全員がお互いを信頼しあうところに成功の秘訣がある。例えば、「in ぐんま」では参加者たちは安中駅に不安そうに、緊張した表情で降り立ってくる。それが一瞬の内に旧知の仲になる。そこに出会いの瞬間のマジックがある。そのマジックを演出するのは言葉ではなくて、笑顔だと思う。



まなぱる家族—異文化理解に基づく自己成長

群馬大学大学院保健学研究科

恩 幣 宏 美

まなぱる家族とは一体どんな家族なのでしょう
か？まなぱるで生活している家族？それともまな
ぱるが大好きな家族？答えは、後者になります。

私は群馬大学大学院保健学研究科の看護学講座
で講師をしております恩幣宏美と申します。私が
なぜ、このタイトルで今回、お話しさせていただ
くかと言いますが、私と子ども 2 名がまなぱる受
講生であり(私は元受講生ですが)、主人もたまにま
なぱる主催のイベント(ハローウィーン)にも参加
しているまなぱるがとても大好きな家族であるか
らです。さらに、今年の夏には国際比較文化研究
所主催の韓国プログラムに家族全員で参加する家
族でもあり、現在、太田先生親子の元で、異文化
について学習している家族なのです。そのまなぱ
る家族の一員である私が、まなぱるの活動を通じ
て得られた知見についてお話しさせていただきます。

私は大学教員であります。現在は博士後期課
程の学生でもあり、博士論文の国際学会誌への掲
載を目指し、頑張っております。しかし、結果は
今のところ 1 勝 1 敗の成績であり、博士論文の審
査基準に満たない状況です。Reviewer の掲載不可
に対する comments を見ると、「あなたの論文から
世界に何を訴えようとしているのですか？」と書
かれています。私は、日本の自己管理が良好な慢
性疾患患者(腎不全や糖尿病)さんの食事管理行動
を、実際に自宅に行き観察し、そこから得られ
た素晴らしい自己管理に対する工夫などについて
研究を行っています。結果をまとめつつ、自分な
りに「これこそ日本の食文化を活かした素晴らし
い自己管理だ」と自画自賛し、それを世界中に伝
えたいという熱い思いで論文を投稿するのです
が、結果は惨敗です。何故なのでしょう？

ちなみに、私の娘(3 歳)は、今年の 4 月からま
なぱる生となり、歌やダンスなどを通して英語や
異文化に触れています。その授業と一緒に参加し
ていると、先生が「海外では、この春の時期は復
活祭(イースター)の時期で、鶏卵に色々な模様を描
いて楽しめます、皆さんも卵にお絵かきしましょ
う！」と子ども達に伝えています。それを聞いた
私は、「え？イースターって何？私、そんなの初め
て聞いた！」と愕然としました。私も、子どもも、
ただ英語を学びたい、そしてできれば、世界で活
躍できる人間になりたいという思いで、まなぱる
に入会しました。では、世界で活躍できる人間つ

て一体どんな人なのでしょう？私が英語がペ
ラペラになって、世界中の人と話ができれば活躍
できるのでしょうか？しかし、世界の人々は、日
本の国の文化を英語でただ、ペラペラとしゃべる
人を決して受け入れるとは思いません。自分自身
がそういう立場になってもきっと同じように思
います。相手の文化も理解し、そして自分の文化
も誇りに思いつつ、その 2 つの文化を融合しなが
ら、「このようにしていきたいと思いませんか？」
という考えを伝えられる。これこそが世界で活躍
できる人間だと考えます。イースターという文化
も知らない研究者の私が、食という世界各地で
様々な違いがある文化の中に、日本の食文化を伝
え、受け入れてもらうことができるのでしょうか？
今の私は、日本の国の食文化のことだけをた
だ、ペラペラしゃべっているだけの研究者です、
そのことをあのまなぱるでの、たった 5 分ぐら
いの授業で気がついたのです。そして、気がつく
ことができたのです。

さらに、太田先生から教えていただいた「日本
人の食生活から得られた知見を、世界にどう訴え
ていくのかも貴重ですが、その前に海外の・他文
化/多文化の食生活をどの程度抑えておられます
か？それ無しでは何を訴えてもお門違いになり
ませんか？」とのご意見。このご意見も胸に響き
ました。世界の食文化を知らない私が、「日本は
こうです」と言っても、世界中の人々が「これは
私の国の食事に活かそうだ！」と思ってくれま
せん。その部分が、私の論文に抜けている部分だ
と気がつきました。きっと、今度は acceptance
の結果が届くのではないのでしょうか？これも自
画自賛からもしれませんが。

まなぱる、そして国際比較文化研究所の出会い
は、私と私の家族の価値観を大きく広げてしてく
れています。そして、いつ、子どもとまなぱるに行
っても、暖かく、家庭的な雰囲気でも迎えてくだ
さる先生方。あの暖かい環境で学んでいる私の子
どもは安心して、異文化を通じた総合的な学習を
積んでいってくれと感じています。

世界の中の自分を意識した活動や意識を、今後
もまなぱる家族である私たちは、まなぱると国際
比較文化研究所を通じて養っていきたく思っ
ております。今後ともご指導のほど、よろしくお願
い申し上げます。



“まなぱる家族” 恩幣宏美先生ご家族

まなばる通信 2013. 7. 6.

まなばるでは、このような通信を定期的にまなばる保護者宛にメールで送信しています：

保護者の皆様

お世話になります、まなばるです！

8月の予定

8月9日(金)～10日(土)
高学年キャンプ

8月25日(日)

今年の夏フェスは～

「つくしの森」@ゆう優ハウス大和（原市）
…今回が初回となる地域繋がりがイベント！いろんな団体が参加する納涼祭の1日目♪どうぞお楽しみに！
(詳細後日)

8月1日(木)～26日(月)

中3生・5教科12日間の夏期講習！

… … …

カノンさん渡米します！

これまで1年半、まなばるで子どもたちの相手をしてくれた田村和音(通称カノンちゃん)が、幾多の試練を乗り越えて、いよいよ今月27日に渡米することとなりました。

(現在、参加していないクラスもあります⇒月曜日全クラス・木曜3時4時クラス・中学生クラス等)

カノンちゃんがまなばるに来るのは7月17日(水)が最後になります^(11日(木)から17日までが各曜日彼女が登場する最後の日となります。)

あと少しとなってしまいました、宜しくお願い致します！

>>>>渡米に関して<<<<<

カノンちゃんは Au Pair (オペア) という留学プログラムを使ってカリフォルニア州に渡米します。

Au Pair とはホームステイ先でベビーシッターとして働きながら、現地の学校に通う国務省管轄のプログラムです。一般的な語学留学(申し込みは基本的に受け付けてもらえる)とは異なり、Au Pair は責任ある仕事も含むため、ホストファミリー候補との複数回の面接試験などもあり、一定レベルの英語力と、ベビーシッターとしての信頼性が問われます。

彼女は Au-Pair 合格を目指して、まなばるにてコツコツと会話・文法学習に励み、必要課題をこなし、すごい数の提出書類(英語)もしっかり自分で仕上げ、厳しい面談に挫けず繰り返しチャレンジし、見事にこのチャンスをつかみました！

努力に努力を重ね、自分の力で道を切り開いたので、す^^素晴らしいですね^^！

皆様には大変お世話になりました。これからも頑張り屋のカノンさんを応援してあげてください！

>>>カノンさんからご挨拶<<<

「和音です。保護者の皆様、まなばるキッズのみんな、今まで本当にお世話になりました。

まなばるではすごく楽しい時間をお子様たちと過ごすことができ、私はとっても幸せでした！みんな本当にかわいくて大好きでした。

お子様たちと過ごせた経験は、これからの私を支えてくれる、大事な大事な経験です。ありがとうございました。

アメリカでは頑張って英語を勉強してきます。いつか子どもたちとまた英語で遊べる日を楽しみにしています！」

……………

カノンさん Good Luck!!

以上、まなばる通信でした^^

研究所の新しいパンフレットが出来ました！

2000年創立時に芳賀晶氏にお願いして作成しました、研究所のパンフレット。大変評判も良かったのですが、10年以上経過し、色々と実情に合わなくなっておりました。今回は、まなばる代表、太田琢雄に依頼して新しいパンフレットを作成しました。同封いたします。

ご入用な方は必要部数をお知らせください。研究所の発展のために、ご活用いただければ幸いです。

会員と賛助会員の違い

時々、会員と賛助会員の違いについてご質問を受けます。定款では「正会員をもって特定非営利活動促進法(以下「法」という。)上の社員とする。」としていますが、この正会員のことを「会員」と呼んでいます。賛助会員との違いは正会員(社員)には年会費(2千円)をお支払い頂いている事と総会での議決権を持つところに有ります。

賛助会員につきましては、特に会費を定めておらず、ご寄付下さった方と多文化交流などのプログラムにご参加下さった方を賛助会員とさせていただいております。現在、会員は170名ほど、賛助会員も同じく170名程度いらっしゃいます。

現在「会員」として毎年年会費をご請求させていただいている皆様の中には、NPO法上の社員としての権利(総会での議決権)に関心が無く、運営についてはお任せいただき、サポートをして下さっている方も大勢おられます。もしもご希望が有るようでしたら、ご連絡いただければ会員から賛助会員への移動も可能です。メールかファックス、或いはハガキにてご連絡ください。なお、同封の振込用紙に「賛助会員への移動を希望」と記していただければ、そのようにさせていただきます。

多文化交流 in 静岡、in 釜山、in マラン、招聘プログラム ご支援ください！

現在、それぞれのプログラムを独立採算で実施しております。今、同封のチラシにありますように、多文化交流 in マランを体験した静岡の学生たちが「留学生との多文化交流 in 静岡2013」を立ち上げています。チラシを同封させていただきますが、参加費 6000 円で二泊三日のプログラムを作っています。スタッフは 15 日には会場に合宿に行って、問題を洗い出して来たそうです。初めて立ち上げるプログラムですので、参加費だけでは不足で追加資金が必要になります。皆様に特別のご支援いただければ幸いです。同封の振込用紙に一言「静岡」と記していただければ、多文化静岡の活動費とさせていただきます。

「留学生との多文化交流 in ぐんま 2013 夏」 ここは写真で…

夏フェス→



「上毛かるた」でリードするのは
まなばるの子どもたち！

まなばる生、留学生、日本人学生が
スクラムを組んで一つになる



ベトナムのアオザ
イ姿のホストファ
ミリー x 2

「学習の森」という
素晴らしい会場に
恵まれて、群馬の暑
い夏も味方に付け
た「多文化ぐんま」

次はいつ開催され
るのでしょうか。



☆会費納入とご寄付の感謝とお願い☆

皆様から、思いをはるかに超えたサポートをいただき心から感謝しております。二年後の認定NPO法人格取得を見据えながら着実に研究所の活動を続けて参ります。今年度必要とされているのは3千円以上のご寄付を150人の方々からいただく事です（ここには会費は含まれませんが、静岡などへの指定ご寄付はカウントされます）。この目標を達成するためにも、お一人でも多くの方に国際比較文化研究所の活動を知っていただき、支えていただけるよう努力していく所存です。多文化交流活動、まなばる活動、インドネシアからの招聘活動へのさらなるご協力をお願いします。いずれの活動も皆様のご協力なしには継続できません。支えて下さる方の輪が広がるよう、お力添えをお願いします。

年会費は個人が2000円です。いつものように会費をすでに頂戴している方にも振込用紙を同封させていただきますが、これはご寄付下さる方のため、また新入会員をお誘いいただくための振込用紙です。

決してご寄付を強要するものではありません。

会費・寄付 (2013. 5. 25. ~8. 15.)

《敬称略・順不同》

今年度に入り、次の方々から会費・ご寄付をいただきました。有難うございます。

<入会・会費> 岸和典、

<会費> 朴敬二、木村隆・眞理子、関根君子、工藤早恵、松山幸生、長谷川勝義、石井七郎、堀越敏男、前田武男、中易圭子、山崎恵美子、鈴木武仁、飯田俊（'14）、福田則行、加納武、五十嵐由紀子、丸山武子、徳増弘子、関口澄。なお、先号の「須山史枝」さんは「巢山史枝」さんの間違いでした。お詫びして訂正します。

<インドネシア招聘・多文化交流> 飯田俊、鬼頭孝子（多文化ぐんま）、福田則行（招聘）。

<まなばる> 木村隆・眞理子、関根君子、飯田俊。

<一般寄付> 狩野真由美、長谷川勝義、堀越敏男、岸和典、山崎恵美子、親泊治（x 3）、飛松和子（飛松様のご遺族よりご寄付いただきました）、東京信愛教会、永田強一、巢山史枝、池田章二、松本光、森啓、丸山輝彦。

編集後記：困った！どうしても「鷲宮卓話」が書けない。その結果、この号の発行がひと月も伸びてしまった。けれどももう待てない。今週末には「多文化交流 in 釜山・ソウル」で韓国に行ってしまう。9月に入ると「多文化交流 in 静岡」が始まる。そんな日程にせかされての発行となってしまった。

Newsletter 発行 特定非営利活動法人国際比較文化研究所

事務所：〒379-0124 群馬県安中市鷲宮 3413-3

電話：027-382-5998 FAX:027-382-6393

e-mail: mtharunac@xp.wind.jp

HP: <http://www8.wind.ne.jp/mthc>

MANAPAL ブログ: <http://manapal.gunmablog.net/e80854.html>

郵便振替口座番号:00510-0-61974 名称:国際比較文化研究所

Facebook:多文化交流 NPO 法人国際比較文化研究所